

北里大学病院・旧北里大学東病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (受付番号/承認番号)	大腸癌進展メカニズムにおける CAVIN3 遺伝子の機能解明
当院の研究責任者 (所属・職位)	医学部上部消化管外科学 教授 比企 直樹
他の研究機関および 各施設の研究責任者	なし
本研究の概要・背景・目的	<p>がん組織は、がん細胞の他に間質細胞と呼ばれるがん細胞の周囲に存在する複雑な生態系から構成されています。その間質細胞の一種である癌関連線維芽細胞と呼ばれる細胞が、がんの浸潤や転移に関連していると考えられています。</p> <p>ケビン3という遺伝子は、その癌関連線維芽細胞と強い関連があり、大腸癌の予後にも影響していることが分かりました。最近の論文で報告されました。しかし、ケビン3のがんの中での役割は、未だ解明されていません。そこで、ケビン3が担う役割を調べ、がんの転移・増殖のメカニズムを解明することを目的として、本研究を立ち上げています。</p>
調査データ 該当期間	2018年1月1日から2026年3月31日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さん	2018年1月1日から2021年6月30日までの期間に大腸癌および大腸癌の肝転移に対して手術加療を受けた患者さん。
研究の方法 (使用する試料等)	<p>利用する情報:</p> <p>2018年1月1日から2026年3月31日までの電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。また、手術で得られた残余検体を利用します。</p>
試料/情報の 他の研究機関への 提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
利用又は提供を開始する予定日	利用又は提供開始予定日： 研究期間の長の許可日から
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	<p>本研究の遂行のための費用は外科学医局研究費を使用します。</p> <p>研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け適切に管理されています。</p>
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

	<p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 所属・職位:北里大学病院 上部消化管外科 教授 担当者:比企 直樹 (ヒキ ナオキ) 電 話:042-778-9974</p>
<p>備 考</p>	